

眼科 臨床研修プログラム

研修目的

眼疾患に対する基本的な診察方法を学び診断と治療方法について考察できることを目標とする。
また、眼科緊急性疾患に対する初期対応の習得を目的とする。

習得できるアウトカム（能力）

1) 必ず習得できるアウトカム（能力）

※習得することで診療科の研修を修了できます。習得できていないと評価を受けた場合は、研修期間が延長となります。

- A. 医師としての基本的価値観（プロフェッショナリズム）
 - ・眼科に特有な「視覚の障害」を訴える患者やその家族に対して、訴えに対する理解をしながら共感的な態度で接することができる。
- B. 資質・能力
 - ・上級医に対してプレゼンテーションを行い、問題点を共有できる。
 - ・メディカルスタッフとコミュニケーションをとることができる。
- C. 基本的診療業務
 - ・問診で社会的背景を聞くことができる。

2) 研修医の意向により習得できるアウトカム（能力）

- A. 医師としての基本的価値観（プロフェッショナリズム）
 - ・患者の価値観、負担に配慮した治療方法やサポート計画を立案できる。
- B. 資質・能力
 - ・眼所見を記載し診断、治療方法について立案できる。
- C. 基本的診療業務
 - ・他覚的検査方法について、目的を理解し検査結果を読み取ることができる。

具体的な指導方法・フィードバック方法（研修方略）

ローテーション終了時に研修内容について振り返りを行い、今後の研修に向けて必要なアドバイスを送る。

週間予定表

	午前	午後
月	8:30～術後回診、9:00～12:00 外来診療	13:00～16:30 外来診療
火	8:30～術後回診、9:00～12:00 外来診療	13:00～16:30 外来診療
水	8:30～術後回診、9:00～12:00 外来診療	13:00～16:30 外来診療
木	8:30～術後回診、9:00～12:00 外来診療	13:00～16:30 外来診療
金	8:30～術後回診、9:00～12:00 手術	13:00～16:30 手術

指導責任者および指導医

指導責任者： 高橋 秀肇

指導医： 西郷 陽子、渡邊 亮、多田 麻子、安達 彩、西山 俊吾

学会発表・論文作成に対する指導体制

指導医が発表のための文献検索、スライド作製、プレゼンテーションについて指導を行う。